

文部科学省認定社会通信教育

実用英語講座 4級クラス

Practical English Course
Grade 4

BOOK 1

1EHG0-01

はじめに

ようこそ、『実用英語講座 4 級クラス』の「学びの世界へ」！

英語を学ぶことには、大きな期待感がある一方で誰しも抵抗感があったり、時に高いハードルを感じたりすることがあります。英語を身に付けるには、そのような山あり谷ありの「学びの道」を継続して進んでいく「地道な努力」以外の道はありません。残念ながら、あっと驚くような「奥の手」がどこかに潜んでいるということはないのです。英語の学びへの向き不向きを悩んだり、これまでの学びの成否を振り返ったりするよりも、これからの「地道な努力」の継続こそが英語習得の大きな要因になります。

いま、皆さんがこのテキストの 1 ページ目を開いたと同時に、英語を通して世界とつながる最初の扉が開かれました。この先、長い道のりですが気長に楽しく学び続けていきましょう！

英語の学びをアシストするテキスト構成

英語が身に付いた状態とは、「英語の音声」「英語の表現」「英語の意味」が、頭の中に取り込まれ、いつでも使えるようにスタンバイできた状態です。そんな状態が作れるようにお手伝いするのが、本講座の役割です。

英検 4 級では、「簡単な文章や表示、指示」を聞いたり、読んだりして理解する力、また、「簡単な文」を使って自分の思いを話したり、書いて伝えたりする力が求められます。この講座では、英検 4 級に相当する技能が身に付くよう、「身近な話題」から「他人との関わり」へと広がっていくように構成されており、さらには「自らを取り巻く社会生活」にも焦点をあてています。まずは、身近な話題について「聞くこと」からスタートし、「読むこと」を通してより一般的な社会生活における話題へと進んでいきます。そして各 WEEK の最終日には、実際の生活で起こり得る場面を想定した Real Life に挑戦することで、言葉が運用できることを到達目標としています。

この講座を通して英語を何度も聞き、さまざまな表現に触れ、英語を身に付けていきましょう！

岐阜大学 教育学部 英語教育講座 教授

異 徹

静岡大学 大学教育センター 非常勤講師

田中 裕実

(監修・執筆)

WEEK 1

Targets of WEEK 1

海外旅行に出発です。機内での会話などを通し、日常で使える表現や単語を覚えましょう。

WEEK 1 の学習項目

- ・相手に自分の要望やできないことを伝える表現を覚える (DAY 1, DAY 2)
- ・ There is/are の仕組みを知り、その場にあるものや状況を伝える表現を覚える (DAY 3, DAY 4)
- ・ 機内アナウンスを聞く、空港内掲示板を読む① (DAY 5)

WEEK 1 のスキルアップポイント！

- ・ 英語のリズムを知る
- ・ There is/are の表現を使って状況説明をする

WEEK 1 DAY 1

Listening



Speaking



Reading



Writing



What's the date today? It's _____, _____ .
(曜日) (月) (日)

⇒ DAY 1 の日本語訳、解答例、解説などは [解答・解説](#) p.2 ~ 3

Warm Up

CD1-02

- CD から流れる英語の質問に対し、あなた自身のことを答えましょう。
最も近い答えの□に✓をつけましょう（複数回答可）。

- Q1 ☐ 1 Yes, I do.
☐ 2 Yes, but I can't go often.
☐ 3 No, I like domestic travel.
☐ 4 No, I don't like traveling.
- Q2 ☐ 1 By car.
☐ 2 By plane.
☐ 3 By bus.
☐ 4 By Shinkansen.
- Q3 ☐ 1 Of course, I do.
☐ 2 No, I sometimes / always skip breakfast / lunch.
☐ 3 I sometimes / always skip dinner.
☐ 4 I usually have meals once a day.

▶ Hints

- Q1 travel abroad 「海外へ旅行をする」
Q1-3 domestic 「国内の」
Q2 if ~ 「もし~ならば」 how 「どのように」
Q2-1 drive alone 「自分（自身）で運転する」
Q3 usually 「通常は、普段」
Q3-2, 3 always 「いつも」
Q3-4 once a day 「1 日 1 回」

[参考](#) 質問の英文は [解答・解説](#) p.2

Step 1 イラストをヒントに今週の会話を聞きましょう。どんな人たちが登場していますか？ 彼らはどこにいますか？ 何について話をしていますか？ メモを取りながら聞きましょう。その後、下の問題に答えましょう。



(日本語でも構いません)

●会話の内容に合うように、()の中から最も当てはまる語句の□に✓をつけましょう。

- 1) The woman is a little (☐ sleepy / ☐ cold / ☐ lonely).
- 2) The man (☐ can't change / ☐ can fix / ☐ can turn up) the air conditioning.
- 3) The man will bring her (☐ a cup of tea / ☐ a magazine / ☐ a blanket).

▶ Hints

会話：丁寧に何かを依頼するときには“Could you ~?”と言います。

会話：we は自分が所属する店や会社などを指す we なので、「私たちは」などと訳しません。

1) sleepy「眠い」cf. sleep「眠る」lonely「孤独の、寂しい」

2) can't「～できない」can「～できる」fix「～を修理する」turn up「〈火力や音量など〉を大きくする、上げる」cf. turn down「〈火力や音量など〉を小さくする、下げる」/ turn off「〈ガスや電気など〉を止める、消す」/ turn on「〈ガスや電気など〉をつける」

Step 2 もう1度会話を聞いて、質問に英語で答えましょう。難しければ日本語でも構いません。  CD1-03

Q1 Where are the two people?

Q2 Does the women feel hot?

Q3 What will the man do next?

▶ Hints

Q2 女性の最初のセリフに注目。

Q3 男性の最初のセリフに対して女性が何と答えているかに注目。あるいは最後の I'll be back soon. がポイントです。



Hints を参考に回答しよう。

Words and Phrases

● 語彙や語句を練習しましょう。

Step 1 会話を聞きながら、右の欄の日本語に相当する英語を下の ● **Vocabulary** の CD1-03 の中から選んで左の欄に書き入れましょう。ほかにも調べた語彙や語句があれば、空欄に書き入れましょう。

✓		English	Japanese	
	1		—	少し〔ちょっと〕
	2		—	～して下さいますか。
	3		—	〈温度や音量など〉を上げる
	4		動	～を変える
	5		名	空気調節装置〔エアコン〕
	6		動	～を持ってくる
	7		形	もう一つの
	8		副	すぐに
	9			
	10			
	11			
	12			

● Vocabulary

air conditioning / a little / another / bring / change / Could you ~? / soon / turn up

Step 2 CD の後について発音練習をしましょう。

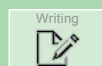
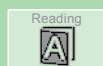
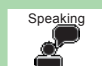
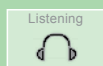
CD1-04

Step 3 日本語だけを見て英語を発音しましょう。言えたら左のチェック欄に✓を入れましょう。

Step 4 上の語彙や語句を意識しながら、会話をもう 1 度聞きましょう。

CD1-03

WEEK 1 DAY 2



What's the date today? It's _____, _____, _____.
(曜日) (月) (日)

⇒ DAY 2 の日本語訳、解答例、解説などは [解答・解説](#) p.3

Warm Up

●発音のツボを押さえましょう。

ここがわかると英語が聞き取れる！ 英語らしく話せる！ そんなツボを押さえましょう。

Step 1 今週の会話に出てくる下の文を、リズムに注意しながら CD を聞きましょう。 CD1-05

(1) I'm a little cold. [タタ・タタ・タン]

● ● ● ● ●

(2) You're very welcome. [タタ・タン・タン・タ]

● ● ● ● ●

(3) I'll be back soon. [タタ・タン・タン]

● ● ● ●

今週の発音のツボはこれ！ 《英語のリズム》

日本語は、どの単語もほぼ同じ「タン・タン・タン」というような一定のリズムで発音されます。一方、英語は1つの文の中で強調して「強く・高く・ゆっくり」発音される部分（強音部）と、「弱く・低く・速く」発音される部分（弱音部）があります。上の文では、大きな「●」で示してある箇所が強音部、小さな「●」が弱音部です。それらが組み合わさって、(1) の「タタ・タタ・タン」や (2) の「タタ・タン・タン・タ」などの英語独特のリズムを作ります。

このような強弱のリズムのつけ方にはルールがあります。強音部に該当する語は、その単語のみで具体的な意味を持っている語で「内容語」といい、品詞は名詞・動詞・副詞・形容詞などがそれに当たります。弱音部に当たる語は「機能語」といい、特に強調しなくてもよい単語です。and や or、at や of などの前置詞や人称代名詞、be 動詞、助動詞などがそれです。これらが合わさってできるリズムは、内容語に注目するとほぼ一定のリズムを刻み、その間に挟まれた機能語は時に「圧縮」して発話されるため、早口に聞こえるのです。

では、上の (3) I'll be back soon. を例にとって練習してみましょう。

まずは be を発音せずに、音楽の三拍子のように各語同じ長さで読んでみましょう。

① I'll ② back ③ soon ④ [タン ⑤ タン ⑥ タン]

①②③は同じ拍で発音します。

リズムよく発話できたら、次に I'll のあとに be を挿入します。それぞれ①②③の音の長さは変わりませんので、先頭①の部分の発音だけが忙しくなります。

I'll be back soon [タタ タン タン]
(①機能語) (①'機能語) (②内容語) (③内容語)

上手に発音できましたか？ まずは短い文から練習し、英語独特のリズムに慣れていきましょう。

Step 2 左の □ 内の文をリズムに注意しながら、CD の後について言いましょう。



Let's Play a Role!

● 今週の会話を覚えましょう。

Woman: Excuse me. I'm a little cold. Could you turn up the air conditioning?

Man: Sorry, we can't change the air conditioning, but I can bring you another blanket.
Is that OK?

Woman: Oh, that's nice. Thank you.

Man: You're very welcome. I'll be back soon.

参考 日本語訳は本冊 p.25

Step 1 テキストを見ながら、発音に注意して CD の後について言いましょう。次に、 CD1-07
テキストを見ずに CD の後について言いましょう。

Step 2 CD を聞きながらロールプレイをしましょう。

1) テキストを見ながらセリフを言いましょう。あなたは Woman の役です。
ピッという音のあとから始めましょう。



2) テキストを見ながらセリフを言いましょう。あなたは Man の役です。



3) テキストを見ずにセリフを言いましょう。あなたは Woman の役です。
ピッという音のあとから始めましょう。



4) テキストを見ずにセリフを言いましょう。あなたは Man の役です。



⇒ロールプレイの学習方法は **コースガイド** p.11

Build Up Your Vocabulary

●動作に関する表現を覚えましょう。

✓	1	bring <one> a menu	<人に> メニューを持ってくる
✓	2	bring <one> a pillow	<人に> 枕を持ってくる
	3	give <one> a declaration card	<人に> 税関申告書をくれる
	4	give <one> a pamphlet	<人に> パンフレットをくれる
	5	show <one> your credit card	<人に> あなたのクレジットカードを見せる
	6	show <one> your passport	<人に> あなたのパスポートを見せる
	7	tell <one> the way to the station	<人に> 駅への道を教える
	8	tell <one> how to spell it	<人に> つづり方を教える
	9	turn off the heater	ヒーターを消す
	10	turn out [off] the lights	明かりを消す
	11	turn on the computer	コンピューターをつける
	12	turn on the gas	<栓をひねって> ガスをつける
	13	turn up the volume	音量を上げる
	14	turn down the TV	TV の音量を下げる
	15	turn over the page	<指定された> ページをめくる
	16	turn over the pancakes	パンケーキをひっくり返す



3. give me a declaration card



14. turn down the TV

<one> は you, me, him, her, them など目的格が入ります。

Step 1 CD の後について発音しましょう。



Step 2 日本語だけを見て英語を発音しましょう。言えたら左のチェック欄に✓を入れましょう。

Step 3 上の 1 から 8 の表現を使って「私に (me) ～していただけますか」とお願いする文を言いましょう。

Could you _____?

Step 4 上の 9 から 16 の表現を使って「(あなたのために) ～しましょう」と申し出る文を言いましょう。

I'll _____ for you.

Express Yourself!

● 英語の質問を読んで、あなた自身のことを口頭で答えましょう。

Q1 Do you like traveling?

答えの例 No, I don't, because I always get carsick.

あなたの答え _____

Q2 Which do you like better, traveling by airplane or by train?

あなたの答え _____

Q3 If you have a long holiday, where do you want to go?

あなたの答え _____

Q4 What do you want to do next holiday?

あなたの答え _____

▶ Hints

Q1 get 「～になる」 carsick 「乗り物に酔った」

Q2 Which 「どちら」かを尋ねています。

Q3 long holiday 「長期休暇」 If ～, の部分が条件を表していて、where 以下が質問になっています。

Q4 want to do は、「やりたい、したい」、という意味です。